



# よくび通信

第  
20  
56  
号  
24

## 信秀公十一男 茶人織田有楽斎



**三英傑と長益**  
長益は、子だくさんであつた信秀の十一男で、信長の13歳下の弟にあたります。織田家に生を受けながら、本能寺の変までは信長の嫡男信忠に仕え、小牧・長久手の戦いでは信長の二男信雄が手を組んだ家康につき、その後は秀吉の御伽衆となり、豊臣姓を下賜されるなど数奇な運命をたどっています。

武将時代の長益は、戦場での戦いにおいて活躍したというより、折衝役などで暗躍していたといわれています。

ひとつは三男信長が好んで舞つたとされる幸若舞「敦盛」を信長幸若舞保存会の皆さまに、もう一つは十一男長益が嗜んだ「茶の湯」を有楽流宗家十七代家元織田宗裕宗匠に奉納いたします。

信長については折に触れお話ししておりますので、今回は長益について少しお話させていただきます。

3月3日は「ひな祭り」ですが、万松寺にとつては当寺を建立した織田信秀の命日であるため「信秀忌」として法要を営んでおります。この信秀忌は、一般的な法要とは少し様相が異なり、信秀の子どもたちが好んだ文化の奉納を行なう珍しい法要となつております。

ひとつは三男信長が好んで舞つたとされる幸若舞「敦盛」を信長幸若舞保存会の皆さまに、もう一つは十一男長益が嗜んだ「茶の湯」を有楽流宗家十七代家元織田宗裕宗匠に奉納いたします。

信長については折に触れお話ししておりますので、今回は長益について少しお話させていただきます。

信長が茶の湯を嗜んでいたこともあり、長益も幼いころから茶の湯に慣れ親しんでおりました。そして、秀吉に仕えていたころに剃髪し「有楽（うらく）」と名乗るようになりました。

有楽斎は、信長・秀吉の茶頭であつた千利休に師事したという説や、利休十哲の一人ともいわれています。しかし有楽斎の茶は、利休が大成した「侘茶」に倣いながら「客を饗なす」ことに重きを置いていました。

有楽斎が所持した茶道具があり現存しないのは、道具より茶を饗なす、愉しむことを本としていたからかもしれません。また、有楽斎の茶の湯の精神は、現在国宝として犬山にある茶室「如庵」でも見ることができます。柔らかな自然光が差し込む有楽斎窓にも饗なしの精神が表れています。

### 信秀忌

3月3日(金)



福よせ雛  
プロジェクト  
公式サイト

展示期間 2月15日～4月15日



福よせ雛は、「人の役にたててほしい」と託された雛人形を「日常生活を表現する雛人形」として新しい命を吹き込むプロジェクト。万松寺会場では、行事での御祈祷の様子や御朱印を書く和尚様、写経や写仏会を愉しむ様子など万松寺の日常を表現した福よせ雛が展示されています。



福よせ雛  
～万松寺会場～

# 住職の小噺

## 「自源」自分が源泉

季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますが、皆様お変わりなくお過ごですか。特に春先は環境の変化も多い時期となり、慣れない環境に不安や戸惑いを感じて体調を崩してしまう方を時々お見かけします。

今回は、そんな不安や戸惑いを少し軽くするための考え方についてお話しします。

### ■他責と自責

人は困難に直面した時、その原因の責任は、自分以外にあるのか自分にあるのかを自然と考えてしまうのです。

どちらかというと、原因は自分以外の他にあると考え、自分を守ることが多い人は「他責思考」といえます。この思考では、悪いのは自分以外なので改善しようという考え方になります。反対にどちらかというかつたり、愚痴が多くなったりします。

と原因は自分にあると考え、反省することが多い人は「自責思考」といえます。この思考では、悪いのは自分なので謙虚に努力して改善しようという考え方になります。

もちろん困難にもいろいろありますから、一概にどちらが正

# これから行事

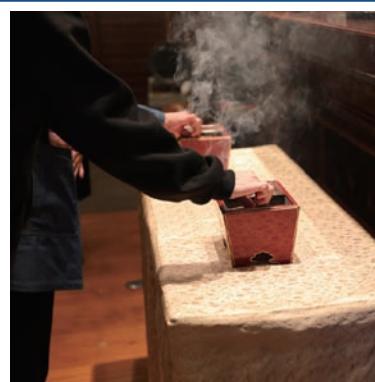
## 3/3(日) 信秀忌

万松寺を建立した織田信秀公（織田信長公の父）の命日供養を行います。



### 3/10(日) 災害物故者追悼法要

震災などの災害で亡くなった世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を行います。今年は従来の法要に加え、能登半島地震で犠牲となられた多くの命への追悼、ならびに被災された方々の心身の健康と一刻も早い復興を祈念します。



## 3/19(火) 初午会

稻荷の日である旧暦初午の日に、白雪稻荷のご真前にて、五穀豊穣・商売繁盛の祈祷を行います。



### 3/22(金) 23(土) 春彼岸合同法要

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を行います。



## 4/8(月) 降誕会

お釈迦様が花園でお生まれになった日に、誕生を祝し報恩感謝の法事を行います。

### 4/22(月) 開山忌

万松寺初代住職大雲永瑞大和尚の命日供養を行います。



### 4/23(火) 春姫忌

尾張徳川家初代藩主義直公正室春姫の命日供養を行います。

行事・祈祷・供養のお問合せ・お申込みは  
祈禱受処または  
052-1262-0735  
にて承ります。  
(年中無休)

※詳しくはホームページをご確認いただき、電話でお問い合わせください。



# 万松寺日記

■年末年始の法要・祈祷  
万松寺の行事の中でも、特に年末年始は多くの行事があり、数年ぶりに多くの方で賑わいました。

## 除夜法会

■令和5年12月31日（日）



## 正月合同法要

■令和6年1月2日（火）  
3日（水）



## 初詣大般若会

■令和6年1月1日（月・祝）  
2日（火）



## 初稲荷大祭

■令和6年1月5日（金）



## 初不動護摩大祭

■令和6年1月28日（日）  
身代不動明王のご真前にて、不動明王の初縁日に際し、分身護摩札・叶御守の授与、特別護摩修行を行いました。



## 涅槃会

■令和6年2月15日（木）  
お釈迦様が沙羅の木の下で亡くなられた日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を営みました。



## 昇龍焚き上げ

### 節分

■令和6年1月13日（土）

正月飾り、古い御守・御札などを

焚く左義長、無病息災・家内安全などを祈祷する特別護摩、おみくじで「凶」をひいた方の「凶運」が「吉運（強運）」となるよう祈祷する

凶返し吉祥護摩を行いました。今年は1月1日に発生した能登半島地震をうけ、復興祈願護摩祈祷を行いました。

## 節分会

■令和6年2月3日（土）

あわせて不動堂で、星祭として、本命星と当年星がより吉勢となるように、除災招福の祈祷を行いました。

本堂で、七難即滅・七福即生の祈祷を行いました。



■令和6年1月16日（火）  
イオンリテール東海カンパニーが販売する「イオンの恵方巻」の焼きのりに護摩祈祷を行いました。

## 海苔祈祷



葬儀に関する悩みや疑問を解決する

## ～まんまるなお葬式～

お寺の費用も  
全て含んで

38万円  
(税込 400,000 円)

まんまるなクラブ会員価格

+5万円で  
納骨も可能！

菩提寺にお経をあげていただきたい方へのプランもご用意しております。  
菩提寺プラン ➤ 26万円～  
(税込 286,000 円)

## 家族葬見学会

万松寺の葬儀プランについて  
祭壇やパネルを展示してご説明します。

日時 3月22日(金)～24日(日)  
11時～16時

場所 万松寺ビル8階 文化ホール

相談会・資料請求・見学予約についてはフリーダイヤルまたは、直接万松寺総合受付へお越しください。受付時間 9:30-18:00 年中無休

0120-157-942

イコーナ

クヨーニ



〒460-0011

名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル北館3階

万松寺セレモニーの  
WEBサイトもご覧ください。

